

【集計結果】

2015年2月12日（木）～14日（土）全国一斉労働相談キャンペーン
パート・派遣・契約社員の労働相談駆け込みダイヤル

2015年2月12日（木）～14日（土）に各地方連合会において取り組んだ「全国一斉労働相談ダイヤル」について、下記の通り集約概要を報告する。

今回は、2015春季生活闘争と連動したもので、民間・公務の職場を問わず、パート、アルバイト、契約社員、派遣社員、嘱託社員、臨時・非常勤職員など非正規雇用で働く労働者を対象に実施した。

		2015年		
集計対象期間		2015年2月12日～2月14日		
受付件数 (受付件数のみ報告分含)		940		
報告(本部・地方)数		48		
項目	全体	件数	割合	
性別 (未報告除く)	男性	444	47.6%	
	女性	488	52.4%	
年代 (不明除く)	10代	1	0.1%	
	20代	80	10.4%	
	30代	138	18.0%	
	40代	254	33.2%	
	50代	170	22.2%	
	60代	109	14.2%	
	70代	14	1.8%	
雇用形態 (不明除く)	正社員	292	33.3%	
	パート	238	27.2%	
	アルバイト	62	7.1%	
	派遣社員	80	9.1%	
	契約社員	101	11.5%	
	嘱託社員	19	2.2%	
	臨時・非常勤職員	16	1.8%	
	その他	68	7.8%	
業種(上位) (不明除く)	1位	卸売・小売業	110	16.8%
	2位	製造業	103	15.8%
	3位	医療・福祉	96	14.7%
	4位	サービス業(他に分類されないもの)	91	13.9%
	5位	運輸業	61	9.3%
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	セクハラ、パワハラ・嫌がらせ	105	11.6%
	2位	雇用契約・就業規則	98	10.8%
	3位	解雇・退職強要・契約打切	77	8.5%
	4位	不払い残業、休日手当・割増賃金未払	67	7.4%
	5位	年次有給休暇	63	6.9%

【全体の特徴】

- 相談件数は940件であった。男女別では、女性からの相談が半数以上（52.4%）を占めている。年代別では、40代からの相談が33.2%と最も多く、次いで50代が22.2%、30代が18.0%と続く。
- 雇用形態別では、正社員以外（パート、アルバイト、派遣社員、契約社員、嘱託社員、臨時・非常勤職員）からの相談が6割弱（58.9%）を占める。また、その中でもパートからの相談が27.2%と最も多くなっている。
- 業種別では、「卸売・小売業」が16.8%と最も多く、次いで「製造業」（15.8%）、「医療・福祉」（14.7%）となっており、女性が多い業種からの相談が上位を占めている。
- 相談内容では、「セクハラ、パワハラ・嫌がらせ」が11.6%と最も多くなっている。「店長から怒鳴られたり、店長のミスを押しつけられるなどのパワハラを受けており、体調不良である」「正社員から無視されており、精神的につらい」など、より弱い立場の労働者に対して、しわ寄せがいつている状況である。また、「同僚（パート）から無視をされたり、人格を否定されるようなことを言われている」といった非正規労働者同士のいじめや嫌がらせの相談も寄せられた。その他「6ヶ月更新のアルバイトとして勤務して3年。会社から6ヶ月更新のため有給休暇はないと言われている」「臨時・非常勤職員として週5日勤務。有給休暇がなく、休むと欠勤扱いにされる」などの「年次有給休暇」に関する相談が通常より多く、働く者の権利が十分に知られていないことも課題である。

【相談事例】

〈パート〉

- 正社員からトイレに閉じこめられる、「仕事を辞めろ」などのいじめを受けている。会社に改善を申し入れたが、パートの意見は聞いてもらえない。
(50代、女性、パート、サービス業、中部地方)
- 無期雇用のパートとして、1年以上、1日4時間、週6日勤務している。パートの募集要項には「有給休暇あり」となっていたが、会社側から「パートには有給休暇はない」と言われている。
(女性、パート、九州地方)

〈アルバイト〉

- 学生アルバイトとして勤務しているが、2ヶ月分の給料が未払いである。店長からは1年半ばには支払うと言われていたが、いまだに支払われていない。このまま泣き寝入りするしかないのか。
(20代、女性、アルバイト、中部地方)
- 仕事中に手首を骨折したが、上司からは、「手首を固定したら仕事はできると思うので出勤するように」と言われていた。痛みには堪えきれずに時々休んでいたが、「休みが多いので次の更新はしない」と言われてしまった。
(40代、女性、アルバイト、卸売・小売業、東北地方)

〈派遣社員〉

- 派遣先の上司から罵声などのパワハラを受けている。派遣元にも相談したが、相談したことが派遣先の上司に知られてしまい、ますますパワハラが悪化してしまった。
(女性、派遣社員、飲食店・宿泊業、関東地方)
- 同じ派遣元から派遣されている同僚が嫌がらせをしたり、あることないことを派遣元に告げている。また、有給休暇を申請したときには、派遣元から「派遣先の信頼をなくす」という理由で、許可してもらえない。
(女性、50代、派遣社員、近畿地方)

〈契約社員〉

- 会社側から「経営が厳しくなったので、退職してください」と言われ、やむを得ず了解し、現在有給休暇を使って休んでいる。しかし、昨日職場の仲間から新しい事務員が採用されたことを聞かされた。
(女性、60代、契約社員、運輸業、北海道)
- 1年契約で5年勤務している。会社側から「次回の契約で労働時間を減らして欲しい」と言われている。契約更新しないと収入がなくなる。受け入れるしかないのか。
(男性、30代、契約社員、近畿地方)

〈嘱託社員〉

- 60歳から再雇用として、嘱託社員として働いている。管理職とは、名ばかりで、残業代は一切払われない。長時間労働のため、肉体的にきつい。
(男性、60代、嘱託社員、金融・保険業、四国地方)

〈臨時・非常勤職員〉

- 臨時・非常勤職員として勤務している。妊娠が分かり、上司に、引き続き働く意思があることを伝え、産休について確認したら「産休は取得できる」と言われていた。しかし、その後上司より「退職して欲しい」と言われた。応じなければならないのか。
(女性、臨時・非常勤職員、公務、関東地方)
- 7年間、公立学校で非常勤講師として勤務していたが、昨年2月に突然雇止めにあった。勤務していたころは、授業以外にも生徒指導などもやり、サービス残業もしてきた。しかし、立場が弱く何も言えなかった。今回、連合のチラシを見て、辞めさせられたときの悔しい思いを言わずにはいられなかったため、何かの参考になればと思い電話した。
(女性、40代、臨時・非常勤職員、公務、中部地方)